

助成事業報告書(もあこめ活動について)

〈事業の実施状況〉

1. 研究の実施について

別添の通り。

2. もあこめっこ(もあこめ)活動について

以下の表のとおり、対面とオンラインでの開催を実施した。

今年度は、小学1年生から5年生まで幅広い学年層が参加している。特に、土曜日の活動では平均して9名ほどの子どもたちが集まるため、活動内容としては、昨年度に比べて多人数で楽しめるグループ遊びを多く取り入れ、遊びの中で異なる意見が飛び交うことで子ども同士のやりとりが増えている。また、昨年度の半ばから継続して実施しているグループトークでは、クイズ形式なども交えながら、自分の考えを互いに「手話で伝える」「手話をよみ取る」力を育む時間としている。そうした活動の結果、ろうスタッフが手話で伝える細かいルール説明なども、絵や見本に頼らず、手話のみで理解し、活動に参加できるレベルに達している子が増えてきた。

オンラインでの活動は、音声をオフにして実施することで、口話の得意な子どもも手話を主たるコミュニケーション手段として進めることができ、手話表現がわからない時にはジェスチャー、指文字、筆談などを使ったやり取りも含めながら、デフスペースを体験する時間となっている。

対面でもオンラインでも共通して、子どもたちが安心して、気を張ることなく活動に参加できている。従来からみられた対面活動後の笑顔と澁刺とした印象は、今年度、特に強く感じられた。

プログラム終了後は、スタッフの養成やプログラムの質の向上等の観点から、スタッフによるミーティング(その日のプログラムの振り返り等)を行っている。そのほか、子どもの手話言語獲得過程、親子間でのコミュニケーションの向上等を明らかにするために、毎回の活動をビデオカメラを設置して記録している。オンライン時にも画面を録画し、研究資源としている。

参加者人数等は以下の通りである。

○対面時の参加者人数等(2024年3月31日現在)

※場所はいずれも府立福祉情報コミュニケーションセンター

もあこめ参加実人数：29名 述べ参加人数：192名

放もあこめ参加実人数：6名 述べ参加人数：37名

合計 参加実人数：32名(もあこめと放もあこめの両方に参加する子どもは1名で換算)

延べ参加人数：229名

もあこめ(第1、3土曜日)

	日時	参加人数 (子ども)	参加人数 (保護者)	総合研究 統括者	指導員	言語習得支援 スタッフ	見学者
1	4月1日(土)	6	5	1	4	7	0
2	4月15日(土)	8	9	1	4	8	7
3	5月20日(土)	9	11	1	4	7	5
4	6月3日(土)	8	8	1	4	6	0
5	6月17日(土)	12	4	1	4	14	1
6	7月1日(土)	13	12	1	4	10	2
7	7月22日(土)	6	7	1	4	8	3
8	8月5日(土)	4	4	1	4	7	5
9	8月19日(土)	9	8	1	4	11	2
10	9月2日(土)	9	8	1	4	8	1

11	9月16日(土)	11	11	1	4	7	0
12	10月7日(土)	7	7	1	4	8	0
13	10月21日(土)	4	6	1	4	11	2
14	11月4日(土)	8	8	1	4	9	1
15	11月18日(土)	10	12	1	4	13	0
16	12月2日(土)	10	8	1	4	7	2
17	12月16日(土)	7	8	1	4	13	7
18	1月20日(土)	6	6	1	4	13	6
19	2月3日(土)	9	6	1	4	12	2
20	2月17日(土)	13	13	1	4	10	0
21	3月2日(土)	12	14	1	4	10	2
22	3月16日(土)	11	12	1	4	10	1

放課後もあこめ（第2、4金曜日）

	日時	参加人数 (子ども)	参加人数 (保護者)	総合研究 統括者	指導員	言語習得支援 スタッフ	見学者
1	4月28日(金)	1	1	1	1	2	0
2	5月12日(金)	1	1	1	1	2	0
3	5月26日(金)	2	2	1	1	2	0
4	6月9日(金)	2	2	1	1	2	1
5	6月23日(金)	3	3	1	1	2	2
6	9月22日(金)	3	2	1	1	2	0
7	9月29日(金)	1	1	1	1	2	0
8	10月13日(金)	3	2	1	1	2	0
9	10月27日(金)	1	1	1	1	2	0
10	11月24日(金)	2	0	1	1	2	0
11	12月8日(金)	3	2	1	1	2	0
12	12月22日(金)	3	2	1	1	2	0
13	1月12日(金)	3	2	1	1	2	0
14	1月26日(金)	3	2	1	1	2	0
15	3月8日(金)	2	1	1	1	2	0
16	3月22日(金)	3	2	1	1	2	0

○オンライン（双方向支援）時の参加人数等（2024年3月31日現在）

参加実人数：5名 述べ参加人数：84名

	日時	参加人数 (子ども)	総合研究 統括者	指導員	言語習得支援 スタッフ
1	4月5日(水)	5	1	1	1
2	4月19日(水)	4	1	1	2
3	5月10日(水)	4	1	1	1
4	5月24日(水)	3	1	1	1
5	6月7日(水)	4	1	1	1
6	6月21日(水)	5	1	1	1
7	7月5日(水)	3	1	1	1
8	7月19日(水)	4	1	1	1
9	8月9日(水)	5	1	1	0
10	9月6日(水)	3	1	1	2
11	9月20日(水)	3	1	1	2
12	10月11日(水)	4	1	1	2
13	10月25日(水)	4	1	1	1
14	11月8日(水)	4	1	1	2
15	11月22日(水)	4	1	1	2
16	12月6日(水)	3	1	1	2
17	12月20日(水)	4	1	1	2
18	1月10日(水)	4	1	1	2
19	1月24日(水)	3	1	1	2
20	2月7日(水)	4	1	1	1
21	2月21日(水)	3	1	1	2
22	3月6日(水)	4	1	1	1

3. もあこめ手話合宿について

日程：2023年8月21日～24日 場所：吹田市自然体験交流センター・わくわくの郷

2017年の「こめっこ」開始当初から継続して参加している小学5年生4名を対象に、もあこめ手話合宿を実施。集中的な活動による手話言語のスキルアップを目的に、「手話言語習得支援事業に関する研究」の一環として試みた。加えて、仲間との関係作りによって、今後のもあこめ参加の意欲が増し、結果として手話言語習得の継続につながることをねらいとした。

スタッフは、指導員1名と、言語習得支援スタッフ4名（ろうスタッフ3名、聴スタッフ1名）が参加。プログラムについては、指導員を中心に、手話言語を意識した遊びも取り入れて、総合研究統括者の提案、助言の下、考案した。支援スタッフとの打ち合わせを5回実施し、4日間の流れ、遊びのイメージ等を共有した。

手話合宿を実施した結果、終日、手話で会話ができる環境にすることで、手が自然に動くようになった。そして、手話の上達に限らず、心理面でも重要な体験を提供することができた。全体のスケジュール、1日の流れや前後の動きを確実に把握できること、相手の行動に関する情報も理解できることによって、子どもたちは安心して能動的に動いていた。ろう者を中心に手話が堪能なスタッフ、同年代の仲間と過ごすことによって、自分らしく自然体で過ごせる快さと共に、自己効力感を味わえた印象を受ける。それは、きこえないこと（目で生きること）に関する自己認識やアイデンティティ形成に役立っただろう。合宿後の活動にも、生き生きと積極的に参加している。

合宿後、子どもたちの変化や語りについて、保護者からは、

- ・合宿以前にはなかった手話表現をしていて、驚いた。
- ・合宿以前より、手がよく動き、手話表現が速くなっていた。
- ・地域の小学校で体験した宿泊学習と比べて、今回の企画（手話合宿）は「楽しいに決まってるわ」と言い、その理由を、「誰にも気を使わず、気持ち疲れず、リラックスして過ごせるから」と語っていた。
- ・夏休みで1番楽しい体験で、「まだまだ帰りたくなかった」と語っていた。

といった感想が届いた。

今回の手話合宿については、内容と成果をまとめ、2024年度の日本特殊教育学会にて発表を予定している。また、来年度以降も実践的研究の一貫として実施できるよう、体制、方法を整えていきたいと考えている。